

私立大学には
負けられません!

サークルの星!

キラッと光るサークルや
活躍する学生をクローズアップ!

イベントに
呼んでください、
盛り上げますよ



部長の松本崇志さん(右)と、
女子チームの部長山口莉奈さん。

ソフトテニス部

体幹を鍛えてめきめき実力アップ

私立大学が圧倒的に強いと言われる大学ソフトテニス界にあって、全九州学生シングルス選手権でベスト8に進出した部長の松本崇志さん(工学部3年)。女子も国立大学で唯一、一部リーグ昇格と近年特に強くなったソフトテニス部。長崎市での大会でも気づけば決勝戦は長大の選手同士ということも。さぞやすごいコーチが入ったかと思えばさきならず。「長崎大学らしく縛られずに自由にやってきました。お互い意見を出し合いながら、自分たちで効果的な練習方法を探ってきたのがよかったようです」とは松本さん。最近、トレーニングに取り入れて成功したのがバランスディスク。バランスボール状の弾力のある楕円形をした器具で、片足を載せると体勢が不安定になるため、体幹を鍛

えるトレーニングになるといいます。ソフトテニスは、どんな場面、どんな体勢でもしっかりボールを打ち返せることが重要なんです。女子チームには、部長の山口莉奈さん(医学部保健学科3年)をはじめ県下の強豪大村高校出身の部員が活躍しています。「一部リーグに昇格したこれからが大変です。国立大学と私立では練習量にどうしても差がつきます。その分アイデアとチームワークでがんばります」と山口さん。



freestyle

「ダンスで長崎を元気にしたい!」と各地で大活躍

例えば長大祭ではゲリラ的なパフォーマンス「フラッシュモブ」を展開。揃いの衣装で三々五々集まり、突然キャンパスの一角を区切ってダンス!長崎の観光名所を巡りながら動画を作って動画投稿サイトにアップしたり、ドリンクメーカーのダンスコンテストにエントリーしたり。春には壱岐でのダンスイベントにも参加。名前の通り、フリースタイルで長崎中を遊ぶダンスサークルです。

「サークルができて3年目、長崎を元気にしたいという思いで活動を始めました。最初はあちこちでダンスの動画を撮りながら、「イベントがある



ときは呼んでください」と営業活動をしましたよ。そのかいあって、多くの方々から声をかけていただくようになりました」とは代表の坂本真理重さん(水産学部4年生)。

なんでも去年は中学校の総合学習でダンスを教えたそうです。「長崎市内の市立中学校なのですが、生徒が文化祭でダンスをしたと。そこで私

たちが彼らに教えて、最後はステージでいっしょに踊りました。中学生をその気にさせるのは思った以上に難しかったですね。かっこつけて参加しない子もいましたし。でも最後は成功しました」。

書道部

十人十色ならぬ「十筆十色」。 パフォーマンスで部員倍増

今号の表紙を飾ってもらった書道部。これまで少数精鋭だったのが、新入生歓迎イベントで書道パフォーマンスを披露したところ、入部者が増えて現在40名の大所帯となりま

した。韓国や中国、オランダからの留学生が入部することもあるとのこと。「書道は白と黒の芸術です。墨の濃淡や線の強弱、余白の美しさで自分を表現していきます」とは部

長の佐藤友香さん(教育学部3年)。前部長の森川慎さんは「就活などで煮詰まったときも、墨の匂いでモードが切り替わります」。なかには全日本高校・大学書道展で毎年入賞するほどの腕前の学生もいます。書道展では漢字、仮名、篆刻、漢字と仮名の調和体のジャンルがあり、漢詩や俳句、歌詞などを題材にします。特に難しいのが大きな紙に書く

書道パフォーマンス。本番ではもちろん紙と墨を使いますが、練習時はもったいないので新聞紙と水を使うのだとか。「数人で行う場合、文字の雰囲気や息を合わせるのに苦労します。大振りな動きを見せるパフォーマンスなので、ほとんどスクワット状態(笑)」。翌日は必ず内股が筋肉痛になるのだそうです。書道は全身を使う芸術なのですね。

手嶋朋子さん
(水産学部3年)



書道の楽しさを
みなさんに
知ってほしい



書道部のメンバー。今年の春の新入生歓迎イベントでも書道パフォーマンスを披露する予定です。

部長の佐藤友香さんが書いた作品は昨年の全日本高校・大学書道展で全国2位と大健闘。

